

# 第15回 伊万里梅まつり

2月18日、西九州一の広さを誇る木須町の伊万里梅園(藤ノ尾)で、伊万里梅まつりがありました。これは、生産量県内一の梅の産地をPRしようと、JA伊万里が毎年開催しているもので、梅加工品や農産物などの直売のほか、小学生による梅の学習発表や梅の種飛ばし大会など、多彩な催しが行われました。今年梅の開花が遅く、園内もようやく咲き始めたばかりでしたが、気持ちの良い青空が広がったこの日、会場には大勢の人が訪れ、うらかな早春のひと時を楽しみました。



梅の加工品や農産物などを直売するテントが並ぶ会場



狙え最長飛距離。梅の種飛ばし大会



小さな子も手伝ってもらって餅つきにチャレンジ



梅サイダーの早飲み大会。お互いの残量が気になります



桃太郎ならぬ梅太郎の劇の中で梅についての学習発表をする牧島小児童



ピタリと息の合った大川内保育園のせいら太鼓



梅園を馬で行く。乗馬体験は子どもたちに人気でした



躍動感あふれる琉球國祭り太鼓の演舞



## 人の動き

平成30年3月1日現在

●人口	55,571人	(- 29)
男	26,755人	(- 22)
女	28,816人	(- 7)
●世帯	23,210世帯	(+ 4)
	( )	は前月比

この冊子は、1部当たり約33円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

この『編集室から』を書き終えた後、私は春のセンバツに出場する伊万里高校ナインを取材するため、阪神甲子園球場へと旅立ちます。皆さんがこの欄を読まれる頃には、1回戦が終わっていることでしょう。今大会最強豪とも言われる相手校に対し、果敢に挑んだ結果はいかに。楽しみです。さて、紙面レイアウトをリニューアルするとともに全頁フルカラー印刷にしては1年。皆さんの目に広報伊万里はどのように映っているでしょうか。過不足なく、また効果的に情報が伝わっているでしょうか。編集技術も写真の腕もまだまだの担当者2名ですが、皆さんに読んでもらえる広報紙、皆さんの笑顔を作る広報紙を目指し、我々もまた果敢に挑みます。広報伊万里へのご意見感想をお待ちしています。(忠)

## 編集室から

広報 **伊万里**

- 発行日/平成30年4月1日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係 ☎(0955)23-4313(直通) 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/> ●印刷/山口印刷株式会社